

平成 29 年 11 月 6 日

(宛先) Matsusaka-EMS 環境管理責任者

Matsusaka-EMS
外部環境監査チーム

外部環境監査員 (氏名・印省略)

外部環境監査報告書

Matsusaka-EMS 外部環境監査の結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の日程

平成 29 年 9 月 28 日 (木) 9 時 30 分 ~ 14 時 00 分

平成 29 年 10 月 13 日 (金) 9 時 30 分 ~ 14 時 30 分

2. 監査の対象

建設部土木課、建設部住宅課、上下水道部下水道建設課
産業文化部農村整備課、飯南地域振興局飯南地域振興課
環境生活部飯南・飯高環境事務所

3. 監査の内容

① 監査の対象期間

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日

② 監査実施内容

エコフィス活動報告シートについて

環境基本計画重点事業進捗評価シートについて

職場研修実施内容について

緊急事態対応訓練実施内容について

内部監査、外部監査実施内容について 等

③ 監査方法

会議室におけるヒアリング、資料の確認

4. 監査結果

(1) 監査の概要

対象の部署全てにおいて、事前の質問事項に対し、説明を受けエビデンスをチェックする形式で行いました。また、監査中に気になる点について、質問を実施し、チェックを入れることも致しました。

監査側の問いに対してはエビデンスをもって回答をいただきましたので、EMSが機能していると判断して良い状態が維持されていることが確認できました。

(2) 監査の所見

①建設部土木課

総合公園の整備中(52.5ha)平成33年完成予定で、完成すると1人当たりの公園面積が12㎡となり都市公園法の1人当たり10㎡を上回る(現状9.74㎡ 全国平均10.3㎡)とのことでした。数値目標が明確となっており良い事例だと思います。

エコフィス活動報告シートのⅡ活動量調査・評価で増加原因は記載されているが、減少要因が記載されていないので、良かった点も内容を記載された方が良いと思います。

CO2削減として渋滞緩和をされているが、効果の数値化がされていない。

年間通して環境活動を複数参加されているが、一覧表を作成されてはどうか。

②建設部住宅課

市営住宅の街灯のLED化平成30年完了予定対象233基20W→10WLED化で、電気料金が半額になり住民に喜ばれており、省エネにも繋がりますので、良い事例となります。また、今後も室内の流しの手元等、風呂場、階段のLED化を計画しているとのこと、計画的に取り組まれていました。

エコフィス活動報告シートのⅡ活動量調査・評価でガソリンの使用量が削減の取組として公用車使用時の相乗り、短距離移動時の徒歩、自転車、単車の使用を行っており、良い取り組みだと思います。

内部監査で教育の実行時期が遅いと指摘があったが、今期は5/19に実施されていました。

平成26年の外部監査で浄化槽点検記録に不具合の記載なしの指摘がありました。点検記録を確認したところ、不具合があった場合わかりやすく記載されるように対策されていました。

③上下水道部下水道建設課

コピー用紙の削減として工事契約用図面をA1, A2からA3に変更する取り組みをされており、図面の文字は少し小さいと思われるが、必要に応じて電子データを業者に渡し使用してもらっているとのこと。場面に併せて使い分けられており、良い事例だと思います。

緊急事態対応訓練として土嚢作りからしており緊急時に時間がかかり

すぎではないかとの質問に対して、若手向けに土嚢作り教育の一環として行っているとのことでした。

可燃ゴミが前年同期比で79.3%削減されていたが、減少の取組はされておらず書庫の整理がされていなかったのが要因だったとのこと。廃棄する分が処理されておらず保管場所が足りず他部門の保管場所を借りていることから、抜本的な対策が必要と思われます。

緊急連絡先としてフロー図と連絡先電話番号が別に記載されているのでフロー図に電話番号を記載した方が分かり易くないでしょうか。

雨水ポンプ場のポンプの稼働率は把握されているがその数値がデータとしていかされていないです。今後、効果も大きいことから、雨水ポンプ場のポンプを更新する際に、省エネタイプのポンプの検討をお願いします。

④産業文化部農村整備課

個人アンケートチェック集計結果が高評価点である、可燃ごみの削減、コピー用紙購入量においても両面印刷、裏紙の使用により前年度比大幅な削減量であり活動の成果が出ていると思われます。また、事業活動においても廃材等リサイクル製品を混ぜたコンクリートの使用の指定による廃棄物の有効活用に積極的に取り組んでおり環境負荷低減への努力が伺われます。

緊急事態対応訓練においても燃料の漏えいを想定した報告書及び手順書を確認し手順通り実施していることを確認しました。しかし、対応備品においてオイルマット、土嚢等備品の最低限必要数量を決めて管理していただくことを提案します。

⑤飯南地域振興局飯南地域振興課

個人アンケート結果において各項目の評価点から、ほぼ満足行く取り組みであり、課員におかれましては、環境に関する関心度の深さが伺われました。また、エネルギー等の使用（電力量）に関しては、前年度の増加を分析し省エネ活動を行った結果、今年度庁舎内で2.2%の減少となり活動の効果が表れています。

適用環境法令等順守評価においても、フロン排出抑制法による3か月に1回の簡易点検も点検票に基づき実施されていることを確認できました。

内部監査の指摘事項におきましては「浄化槽の保守点検時確認の確認印を押す」確実に是正処置が行われていることが確認できました。

⑥飯南・飯高環境事務所

前年度比ガソリンの使用量が多く、今年度は乗り合わせ推進、運行距離の削減、荷物を積まない等、エコ運転の励行対策にてガソリン使用量、走行距離、燃費が大幅に改善され課員の省エネに対する意識の向上が確認できました。

また、環境基本計画重点事業進捗評価シートにおける、合併処理浄化槽への転換目標50基に対し39基と目標には及ばなかったが、少子高齢化の地域で住民の理解を得られるように、広報・ケーブル放送・浄化槽模型展示等により継続的に啓発活動を行っている。さらに、担当地域へのごみの分別の説明、不法投棄のパトロール等実施しておりEMSは十分に機能

していると思われます。

(3) 今後についての気付き

①全ての部署においてエコフィス活動報告シートのⅡ活動量調査・評価にて評価されていますが、増加の要因は記載されていますが、減少に対して要因が記載されていませんでした。取組を記載することで、他部署の参考にもなりますし、出来ていなかったことへの気づきになりますので、記載の検討をされてはいかがでしょうか。

②複数の部署で研修教育が期末や下期で行われています。研修が早い段階で行えない場合は、課の目標・取組の連絡し周知お願い致します。

個人アンケートチェックは各人の環境管理における意識の維持・向上を狙っているものと思いますが、ほとんどの項目は高評価点で推移しており、既に目的は達成していると推察します。今後はある程度項目を絞って（評価点の低い項目）の活動に切り替えてはいかがでしょうか。

③各管理指標の目標が前年同月に比べての絶対値評価ですが、この方法ですと結果が仕事量の増減、職員の増減等改善活動以外の要因による影響が大きく、改善活動による評価ができないと思います。評価は原単位（例：延床面積あたり・人員あたり等）で現してはいかがでしょうか。また、管理表の「前年度」の欄を管理値にした方が未過達わかりやすいと思います。

④コピー用紙の管理ですが購入量の重量（kg）管理ですが、これですと細かい管理ができないので、毎月の使用量（枚）管理にされてはいかがでしょうか。

⑤「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部を改正する省令」において、廃蛍光、廃水銀灯等の保管場所に「水銀使用製品産業廃棄物」である旨の表示が義務付けられました。また、廃蛍光灯類は産業廃棄物として取扱うべきではないかと思われますので、事業系一般廃棄物として処理しても問題ないのであれば、法的根拠を明確にしておくことを推奨致します。

以上